

最終公開審査対象応募案件改善アドバイス

2018年4月24日
COG2017 審査委員会

I. 総論

<ファイナリストチームへのメッセージ>

今回の最終公開審査案件では、市民／学生チームの地域課題解決の取組に対するコミットが高い評価につながりました。これら13案件の今後の課題は総じて、(1) アイデアの実現に向けての資金と人を含む体制的基礎の充実、学生主体チームについては実現に向けての持続可能な体制の構築が求められること、(2) COGでは社会的活動のアイデアを重要視しているが、アイデアの実現段階ではデジタル時代を踏まえて社会的活動のアイデアを支えるデータ活用アプリの有効な利用も資金的体制的なリリースの範囲で検討してみること、(3) アイデアの実現フェーズに移行するには(1)の体制問題に加えて、①デザイン思考によるアイデアの再検証、②実現可能性調査、③アプリに利用可能なデータの収集、などに気を配って着実に進めて欲しいと思います。

これから一年後、二年後にその進化のプロセス、実施のプロセスをご報告いただけることを心待ちにしております。「チャレンジ！！オープンガバナンス2017フェーズ2」として、実施に向けてのチャレンジです。アイデアが実り、地域の課題解決に貢献していかれることを願っております。

安全で環境にやさしいまち京都をめざして～Bicycle City Kyoto! プロジェクト

(応募チーム：BICYCLE CITY KYOTO!)

(特徴) 学生チームによる京都市内の観光中心部を「自転車優先」の街にするための包括的なアイデアの集大成に特徴がある。アイデアの中には短期で取り組めるものから、長期的に諸制度や予算の見直しを伴うものまで含んでいる。



自転車のための町並みの改善と専用マップ

安全で利便性の高いシェアサイクルとサイクルステーションの設置
見やすい標識と交通安全意識の向上

(アドバイス)

(1) 学生チーム自身が取り組めるアイデアの絞り込み

このチームが考案した「自転車優先」の街にする各種のアイデアは、多岐にわたっており、全体としては大変興味深いアイデアが多くあります。そこで今後の学生の活動として考えると、自らが取り組めるアイデアから実際に取り組んでみる大切ではないかと思われます。例えば、自転車専用マップです。これなどは

総合賞を受賞した同じ京都市の「京の歴史と街並みをつたえ隊」チームが進めている chariPnaVi のマップに載せていくことも一案ではないでしょうか。

(2) 学生チームの継続性への期待

このチームは龍谷大学のゼミの学生によるチームであるが、4年生が卒業した後のすでにメンバーの3年生チームへの円滑な引継ぎと可能であれば卒業後も社会人として支援していくことも考えられてよいと思います。さらに将来はゼミの枠を離れて、例えば観光客に何がしかのインセンティブを付与しつつ専用マップ作りに協力していただく、その拠点としてのサイクルステーションとシェアサイクルシステムの連携といった広がりも将来検討されるとよいかと思われます。

(3) 市役所による学生アイデアの活かし方の検討への期待

アイデアを考案する段階では、学生チームと市役所間の接点はほとんどなかったようですが、今後市役所としては「現時点での考え方や取組、計画などとの兼ね合いを図りながら（学生チームの）熱意あるアイデアをどう活かしていけるかをこれから共に議論していければと思います」とのことですので、学生の各種のアイデアについて、幅広い見地からそれぞれの制度的問題と実現可能性と話し合っってその結果を公表していられることも市民や学生による今後のアイデアのブラッシュアップにとって有意義かと思われます。